令和３年６月　№321

# 学　校　だ　よ　り

中央区立京橋築地小学校
東京都中央区築地２丁目13番１号

## *心の通う言葉かけ*

校長　平山　尚彦

夜明けの早さと、暮れてもなお青白く明るい宵の空が、何か心を明るく前向きにしてくれるこの頃です。

新学期がスタートしてはや二月が経ちました。まだまだ制約の多い学校生活ではありますが、子どもたちの明るく元気な姿に救われる思いの毎日です。支えてくださるご家庭のご理解とご協力あってのことと心より感謝しております。

その素敵な子どもたちの姿の一つに、毎朝学校の玄関で交わす気持ちのよいあいさつがあります。私と並んで一緒にあいさつをしてくれる子もいて、朝から温かで明るい心持ちになれる空間となっています。また、異学年間の交流活動が中止されている状況が続いていますが、違う学年の子と一緒に登校したり、自然に声を掛け合ったりする姿も見られ、本校の校風ともいえるよさが失われずにしっかりと根付いていることにも嬉しさを感じています。

先日読んだ新聞記事に、ある外食チェーン店が来客時にかける声を「いらっしゃいませ」から「おはようございます」「こんにちは」に変えたとありました。「いらっしゃいませ」は客が言葉を返しにくく一方通行になりがちですが、「おはようございます」ならばあいさつで返すことができ、さらなるコミュニケーションへと発展するきっかけにもなるとの説明でした。かける言葉一つをとっても、もう一歩相手の視点で見直すだけで、その後のやりとりや気持ちの通い方が大きく異なってくることの大切さを再認識しました。

本校では、子どもたちの伝え合う力を育むことを目標の一つに据えて授業の改善に取り組んでいます。きっかけとなるあいさつ、対話へとつなぐ声かけ…と、言葉のかけ方の大切さを改めて考えています。

まもなく梅雨に入りますが、健康で安全な学校生活が送れるよう、まずはあいさつや優しい言葉が行き交い、心明るく穏やかな毎日が過ごせる学校づくりに子どもたちとともに取り組んでまいります。

６月の行事予定

| 日 | 曜 | 主な行事予定 |
|---|---|---|
| 1 | 火 | 校外学習（４年） |
| 2 | 水 | 委員会 |
| 3 | 木 | |
| 4 | 金 | 安全指導 |
| 5 | 土 | 土曜授業日　PTA スポーツ大会 |
| 6 | 日 | |
| 7 | 月 | ４年以上６時間　教育実習始 |
| 8 | 火 | 体力調査 |
| 9 | 水 | 避難訓練 |
| 10 | 木 | 校内研究全体会 |
| 11 | 金 | |
| 12 | 土 | |
| 13 | 日 | |
| 14 | 月 | クラブ　水泳指導始 |
| 15 | 火 | |
| 16 | 水 | |
| 17 | 木 | 校外学習（３年・５年） |
| 18 | 金 | |
| 19 | 土 | |
| 20 | 日 | |
| 21 | 月 | 読書週間始　４年以上６時間<br>校外学習（６年） |
| 22 | 火 | SOS の出し方に関する授業（６年） |
| 23 | 水 | 学習 DAY |
| 24 | 木 | 校内研究全体会　眼科（全） |
| 25 | 金 | 開校記念日 |
| 26 | 土 | |
| 27 | 日 | |
| 28 | 月 | ４年以上６時間 |
| 29 | 火 | セカンドスクール（４年 日帰り） |
| 30 | 水 | |

## 気持ちの良い「あいさつ」

生活指導主任　中村　純子

マスクを付けて過ごす日々が日常になってきて、１年以上が過ぎました。ちょうど１年前の６月から、分散登校が始まり、少しずつ、学校生活も戻ってきています。

大きな声を出すことは御法度で、マスクをしていても、極力声を出さずに過ごすことを求められています。そのような生活の中で「会釈」をしましょう、と指導してきています。高学年の児童は、廊下ですれ違う時に会釈をしている姿がよく見られます。

また、元気な挨拶の声も戻ってきています。「挨拶は元気のバロメーター」と指導していたこともあります。学校で大きな声の挨拶ができない分、是非ご家庭で声に出して挨拶をしてください。いつか、普通に声を出せる日が来ることを信じて。また、「しなくちゃいけないからする」のではなく、お互いに気持ちよく過ごしていくためには、どうしたら良いのかを考えながら、挨拶をしていけるとよいと思います。ご家庭や地域の皆様のご協力をいただきながら、気持ちの通い合う、挨拶の行き交う学校にしていきます。よろしくお願いいたします。

## 「しおかぜ」は、どんな教室？

しおかぜ教室主任　津村　晶子

実は、答えは一つではなく様々です。私がよくお伝えするのは、「がんばりたい子のための教室」「自分に合う学び方が分かる教室」です。

しおかぜに通うお子さんは、普段は自分のクラスでみんなと一緒に学習しています。週に１回程度しおかぜの教室に行き、自分に合う学習をがんばっています。内容は「自立活動」という学習です。一人一人の現状に応じ、日頃の学習・生活上のことについて改善・克服します。そして、より有意義な日頃の学校生活を過ごしていくための力を、自分で発揮できるようになることが目的です。

しおかぜの教員は、学校の全ての子どもたちを、サポートしています。しおかぜに通っている・いないにかかわらず、職員・保護者・地域の方々と連携しながら支援や応援をしています。ご相談も随時受け付けておりますので、お気軽にお声かけください。他校にいる日もありますが、しおかぜの教室専門員や学級担任等に連絡してくだされば、連絡が伝わります。また、お手紙やホームページ等でも情報を発信しております。ぜひご覧ください。

## 学校給食でできることは

栄養士　吉崎　涼子

学校給食は、１年間で１人あたりに換算するとなんと１７．２㎏、ごはん茶碗１１５杯分もの量が捨てられているといいます。国連は、世界全体の１人あたりの食品廃棄量を２０３０年までに半分にするという目標を掲げています。ご家庭のご飯と異なり、給食では苦手な食べ物が出たり、食べる時間が足りなかったりして残してしまうことが発生しますが、食品ロス問題は私たち一人ひとりが日々できることに取り組んでいくことが大切です。自分の食べられる量、食べるスピードをまず自分が把握できるようになることから始め、最終的には SDGｓ（飢餓ゼロ）の目標達成に向けて主体的に考え行動ができるように導いていきたいと考えています。ご家庭でもぜひ話題にしてみてください。